



## ザンビアの経済概況・月報(2014年7月)

主なマクロ経済指標	2013年	2014年
1. 人口 (百万人)	14.5 (est)	14.9 (予想)
2. 人口増加率 (%)	2.8(2000-2010)	2.8(2000-2010)
3. 失業率 (%)	7.8(2012)	7.8(2012)
4. 平均寿命 (年齢)	49.2(男性)/53.4(女性)	49.2(男性)/53.4(女性)
5. 実質GDP (百万米ドル)	-	-
6. 名目GDP (百万米ドル)	24,746(予想)	25,981(予想)
7. GDP成長率 (%)	6.7	7.0(予想)
8. 一人当たりGNI (米ドル)	1,358*1(2012)	1,358*1(2012)
9. インフレ率 (%)	7.1(Dec)	8.0(Jul)
10. 消費者物価指数 (2009年=100)	131.26	142.57(Jul)
11. 貿易収支 (百万米ドル)	423	7.66*2(Jun)
12. 対日貿易収支 (百万米ドル)	-80.31*4	-7.75*3(Jun)
13. 輸出 (総額, 百万米ドル)*5	10,608	747.6*2(Jun)
14. 対日輸出 (百万米ドル)	53.02*4	0.34*3(Jun)
15. 輸入 (総額, 百万米ドル)*5	10,185	740.0*2(Jun)
16. 対日輸入 (百万米ドル)	133.33*4	8.09*3(Jun)
17. 経常収支 (百万米ドル)	-1,077	-
18. 対外直接投資 (百万米ドル)	177 (2012)	-
19. 対内直接投資 (百万米ドル)	1,066 (2012)	-
20. 金・外貨準備高 (百万米ドル)	2,852 (2013末)	2,673(Feb)
21. 対外債務残高 (百万米ドル)	3,200 (2013末)	3,160(Mar)
22. 為替レート (対米ドル)	5.39ZMW*5	6.15ZMW(Jul)*5
23. 主要政策金利 (現行, 年利%)	9.52	12.0 (Jul)

※( )内の年月は、その年あるいは月の確定値/予測値。 ※小数点第3位以下四捨五入

*1	購買力平価(PPP)による一人当たりGNI
*2	1USD=6.31 ZMW (2014年6月のザンビア中央銀行為替相場)を用いて換算
*3	1USD=103円(2014年6月の日銀基準外国為替相場)を用いて換算
*2	<2014年2月>
*3	主要輸出品目: 銅/硫酸/発煙硫酸/宝石類/金(半製品) 主要貿易相手国(輸出): スイス 46.7%, 中国 17.2%, 南アフリカ6.6%, コンゴ(民) 6.6%, シンガポール4.2%, その他 18.7% 主要輸入品目: ダンプカー/鉄鋼製の塔及びラジスマスト/アンモニウム硫酸/軽油/内燃機関用燃料/原油及び瀝青油/銅鉱石/移動式掘削ドリック 主要貿易相手国(輸入): 南アフリカ 33.3%, コンゴ(民) 20.1%, ケニア 7.8%, 中国 7.6%, インド 3.3%, その他 27.9%
*4	1USD=94円(2013年(平均値)の日銀基準外国為替相場)を用いて換算
*5	2013年1月1日から通貨クワチャのデノミネーションが実施され、1,000 ZMK(旧通貨) = 1 ZMW (新通貨)へと通貨単位が変更となった。

<出典>  
 1.-2., 5.-7.: Country Report 2013 (EIU), The World Factbook (CIA) / 3. Zambia Labour Force Survey Report, 2012 (CSO&Ministry of Labour and Social Security) / 4.: Census 2010 / 8.: UNDP Human Development Report / 9.-11., 13., 15.: Monthly Bulletin (CSO) / 12., 14., 16.: 日本国財務省貿易統計 / 17., 20.-21.: The World Factbook (CIA) / 18.-19.: UNCTAD / 22.-23.: Bank of Zambia

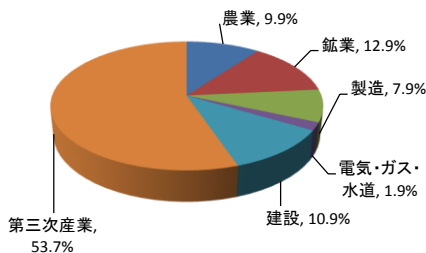
### <ザンビアの税制度 ~鉱業関連~>

(出典: ザンビア歳入庁, ザンビア採取産業透明性イニシアティブ(ZEITI))

1. 法人税(Corporate/Company Tax): 35%。  
ルサカ証券取引所に上場している企業は30%。
2. 付加価値税(VAT): 16%。
3. 採掘権料(Mineral Royalty): 6%。
4. 関税及び消費税(Customs & Excise Duty):  
関税は商品(コモディティ)毎により、0-25%と異なる。鉱業の資本設備に関しては免税(ゼロ関税)。鉱石のまま輸出する場合には15%課税される。
5. 源泉徴収税(Withholding Tax): 15%。

※鉱業権を有する者は、採掘や鉱業関連の活動に必要な全ての機材に係る関税、消費税、及びVATを免除される。

### GDPセクター別構成比(2010)



(出典: ザンビア中央統計局(CSO)データから当館作成)

### 主要な経済ニュース(7月)

1. “作物の市場流通が開始” (2日, Daily Mail)  
ムソカ食糧備蓄庁(FRA)広報官は、FRAが、含水量が12.5%までのメイズの買い取りを7月1日開始した旨発言。
2. “ザンビア、サブサハラ・アフリカ諸国で3番目に平和な国” (4日, Daily Mail)  
世界平和研究所 (Institute for Economics and Peace) が毎年公表している世界平和度指数 (Global Peace Index: GPI) の2014年ランキングにおいて、ザンビアはサブサハラ・アフリカ諸国で第3位となった。本ランキングでは、ザンビアはサブサハラ・アフリカ諸国中ではモーリシャス(1位)、ボツワナ(2位)に次いで第3位にランクインした。
3. “「インセンティブの活用を」ザンビア政府、投資家に呼びかけ” (10日, Times)  
ザンビア政府は、投資家に対し、国立公園や自然動物保護区域を開発する際に、ザンビア開発庁(ZDA)が提供している投資インセンティブを活用するよう呼びかけた。
4. “ザンビア政府、ワンストップ・ボーダーポストを設置” (11日, Daily Mail)  
チクワンダ財務大臣は、ザンビア政府が近々、徴税能力を向上させるべく、ヴィクトリアの滝、カズングラ、カティマ・ムリロにワン・ストップ・ボーダー・ポストを設置する旨発言。
5. “金融部門、ザンビア中央銀行の対策によって安定性を回復” (16日, Times)  
ザンビア中央銀行は、インフレ抑制および外国為替市場の安定化などの対策を実施したことにより、金融部門が再び安定しつつある旨発言。ゴンドウエ・ザンビア中央銀行総裁は、クワチャの価値が最も下落した1ドル7.0クワチャから1ドル6.1クワチャに上昇した旨発言。
6. “ザンビア中央銀行「金利上昇は政府借入の増加により引き起こされたもの」” (16日, Daily Mail)  
ザンビア中央銀行は、昨今の金融貸付機関による金利引き上げは、政府借入の増加によって生じ、それらの借入金はインフラ投資に必要なとされている旨発言。
7. “ザンビア国営航空会社の設立に関する報告書、完成” (21日, Times)  
ザンビア航空会社の設立に関する技術委員会は、当該会社設立に関する報告書を完成させた。本報告書においては、政府によるナショナルフラッグ・キャリア設立に向けた取組に関するガイドラインが提供される。
8. “サーサ教授「過度なクワチャ上昇は経済に悪影響」” (24日, Post)  
サーサ教授は、クワチャの価値の上昇は経済に悪影響となるため、クワチャの価値を1ドル5.5クワチャより上昇させるべきではない旨発言。
9. “ザンビアにおける自動車産業のポテンシャルは高い” (28日, Times)  
カイザー・オートメカニカ・南アフリカヨハネスブルク・事業関係マネージャーは、ザンビアが主要な交通路の要所である点を指摘したうえで、ザンビアは、SADC地域における自動車交易拡大の高い可能性を有している旨発言。
10. “チエンダ地方自治住宅大臣、ザンビアにおける投資機会を強調” (28日, Daily Mail)  
チエンダ地方自治住宅大臣は、ザンビアの鉱業、農業、観光業、建設業、製造業等において様々な投資機会が存在しており、ザンビア政府は経済を多角化し、雇用を創出するための改革を主導している旨発言。
11. “小規模農家の市場にかかる政策の改善を” (29日, Times)  
ンゴマ・ザンビア経済協会会長は、ザンビア政府による小規模農家の市場に関する政策は、当該セクターにおける確実性、投資家の信頼及び生産性を向上させる旨発言。
12. “リビングストーン・ムロベジ鉄道、大幅な改善へ” (30日, Daily Mail)  
ザンビア政府は、リビングストーン・ムロベジ間の鉄道旅客貨物サービスを改善すべく、120万米ドルの資本を投入した。